

第40回

寒地技術

Cold Region Technology Conference

シンポジウム

2024年11月26日(火)~11月27日(水)

寒地技術シンポジウム第40回目の開催にあたり

本シンポジウムは、北国・雪国において培われてきた技術と知恵を結集する情報交換の場として歴史を積み重ねてまいりました。多様化する社会課題やICTなど新技術の発展がある中、本シンポジウムの役割は益々大きくなっていると認識しております。是非ともこの場を活用いただき、積雪寒冷地の課題解決を一緒に考えていきたいと思っております。

記念すべき第40回目の開催となる本シンポジウムでは、従来からの目的である『積雪寒冷地における多様な技術や文化に関する情報の交流』をこれまで以上に活性化すべく、本年度より、ポスター発表や企画セッションの拡大を図る取組みを実施し、より多くの皆様にご参加いただきたいと思っております。

皆様にとって有意義な場をご提供できるよう準備を進めてまいります。多くの皆様にご参加いただきますよう、お願いいたします。



(一社)北海道開発技術センター
理事長 倉内 公嘉

40周年記念イベント 11/26(火) 15:00~18:00

40周年記念イベントとして、本シンポジウムの創設者による40年の歩みを振り返る記念講演に加え、本シンポジウムと同年代であるパネラーたちと、今後の寒地技術ひいては北海道の未来を語り合うリレートークイベントも開催します。
多くの方のご参加をお待ちしております。

40周年記念講演

寒地技術シンポジウム40年の歩み(仮題)

原文宏((一社)北海道開発技術センター 地域政策研究所 所長)

40周年記念リレートーク

40歳からみた「ホッカイドウ」のこれまでとこれから

・登壇者:

山岸 奈津子((一社)SHIRAOI PROJECTS 代表理事)
定池 祐季(東北学院大学 地域総合学部 政策デザイン学科 准教授)
猪熊 梨恵(札幌オオドリ大学 学長 / 福祉事業従事者)
本庄 彩芳(北海道新聞社 記者)

・ファシリテーター:

小西 信義((一社)北海道開発技術センター 地域政策研究所 主任研究員)

・グラフィックレコーディング:

出村 沙代(株式会社 たがやす)

スケジュール(予定)

	11/26(火)	11/27(水)
10:00	論文発表 パネルディスカッション	論文発表 パネルディスカッション
13:00	ポスターセッション	ポスターセッション
15:00	開会式 40周年記念イベント	論文発表 パネルディスカッション
18:00	懇親会	
10:00 ~ 18:00	技術展示	

会場

札幌コンベンションセンター
(札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)



発表要領・申込要領は裏面をご覧ください。

お申し込み要領 (報告論文・ポスター)

寒地技術に関する「報告論文」および「ポスター」を募集します。

- ・「報告論文」ならびに「ポスター」は、発表申込時に発表概要(800字程度)もご提出ください。
- ・「報告論文」の発表形式は、口頭発表となります。なお、今年度より査読は行いません。
- ・ポスター発表の場合は、「報告論文」の提出は必要ありません。

※発表概要は、概要集(冊子)に印刷の上、当日頒布いたします。

※「報告論文」は、「J-STAGE(寒地技術論文・報告集vol.40)」に掲載いたします。



1. 投稿の範囲 (キーワードをお申し込み時にご記入下さい) 複数選択可

雪氷や寒さ、積雪寒冷地に関するあらゆる分野を対象とします。

1 寒さと暮らし 防寒衣料、寒地住宅、室内暖房、生活の知恵、雪国の生活、保存食、冬の伝承文化、冬と教育、除雪ボランティア 等	2 冬と遊び 冬のスポーツ・レジャー、冬のイベント・観光振興、レクリエーション、流水と観光 等	3 雪とまちづくり 防雪対策、流雪溝、消雪装置、除雪機器、都市計画、冬の景観 等	4 冬と交通・通信 新交通システム、雪崩対策、吹雪・吹き溜まり対策、航路維持、気象予測、寒地における航空・船舶・自動車、路面対策 等
5 寒地における農・林・水産 食品保存、食品加工、品種改良、植物工場、室内園芸施設、水耕栽培、栽培漁業、緑化技術 等	6 寒さとエネルギー 冷熱利用、低温貯蔵、凍結工法、室内冷暖房、地域暖房、暖房機器、太陽エネルギー、自然エネルギー利用、EV 等	7 雪と応用技術 降雪・積雪センサー、凍結センサー、マイクロ波応用技術、耐寒機器、計測機器 等	8 寒地と環境 水質汚染、大気汚染、地下水涵養、環境管理、上下水道施設、廃棄物処理 等
9 寒さと構造物 砕氷船舶、港内結氷、流水と漁業施設、着氷雪防止、氷と材料、海水とその特性 等	10 寒地と防災 防災計画、自主防災組織、学校・地域教育、防災設備 等	11 その他 1~10に該当しない内容	

2. 発表方法

報告論文は「口頭発表」、ポスターは「ポスター発表」となります。

3. 申込要領

① 内容について

研究成果の発表、製品及び技術の紹介、アイデアの紹介、構想等を募集します。

② 申し込み

申込フォームに必要事項を記入しお申込ください。

③ 論文について (報告論文のみ)

A4判6頁以内とします。図版等を用い、理解しやすい論文の作成をこころがけてください。

申し込みの流れ



お問い合わせ・お申し込み先

申込フォームに必要事項をご記入のうえ、お申込ください。フォームが使えない方は事務局までメールをお送りください。

〒001-0011
 札幌市北区北11条西2丁目2番17号 セントラル札幌北ビル
 一般社団法人 北海道開発技術センター
 「寒地技術シンポジウム」担当係 [担当: 向井・新森]
 e-mail: ctc-01@decnet.or.jp
 tel:011-738-3363 fax:011-738-1889

一般社団法人 北海道開発技術センター内
 寒地技術シンポジウムサイト
<http://www.decnet.or.jp/project/ctc/>

発表申込締切: 8月30日(金)

報告論文用
申込フォーム

ポスター用
申込フォーム



展示のお申し込み(無料)

申込フォームより、展示タイトルと内容をご記入の上お申し込みください。

※9月30日(月)×切



聴講・概要集等のお申し込み

聴講・概要集・懇親会参加を希望される方は、11月14日(木)までにお申し込みをお願いいたします。

- ・概要集(冊子): 1部 2,000円(予備)
- ※論文はJ-STAGEでの公開となるため、論文集(CD)の頒布は行いません。
- ・聴講: 無料
- ・懇親会(有料・11月26日開催予定)

